

3月定例会のあらまし

3月定例会は、3月6日（月）から20日（月）までの15日間の会期で開催されました。町より、まちづくりの総合的な指針となる会津美里町第一次振興計画をはじめ、18年度当初予算や決算認定、指定管理者の指定など合わせて95議案が提出され、審議の結果、1件を否決し、その他については原案のとおり承認、認定及び可決しました。

最終日には追加議案が出され、職員の給与に関する条例のほか、否決となった指定管理者の指定についても再度提出され、どちらも原案のとおり可決し、3月定例会を閉会しました。

また、7日、8日の2日間にわたって行われた一般質問では13名の議員が登壇し、町長施政方針をもとに、本町の将来像や課題、取り組み等についての質問が活発に飛び交いました。(P.8～14掲載)

なお、16日には、合併後初めて、所管する庁舎に分かれて各常任委員会が行われました。(P.14掲載)

会津美里町第一次振興計画

「笑顔とやすらぎをもたらしすまちづくり」に期待!!

第一次振興計画は、全議員で構成される予算特別委員会（長谷川昌幸委員長）の中で、慎重に審議しました。質疑では、少子高齢化・福祉・教育・産業・公共交通・行財政運営など、町が抱える様々な課題の具体的な対策を求める質問など、今後のまちづくりへの期待を込め、多くの質疑応答が行われました。

採決の結果は、原案のとおり可決しました。

計画策定の目的

まちづくりの総合的な指針となる総合計画で、本町の最上位計画。住む人、働く人、訪れる人みんなに笑顔とやすらぎをもたらしすまちづくりを目指す。

今後のまちづくりの基本的な方向性を定めるための行政運営の基本方針として、この計画を策定。

「会津美里町まちづくり計画」に基づき、本町の将来像に向けての基本方針となる方向を示すものである。

この計画は、「基本構想」「基本計画」から構成されます。

〈基本構想〉

基本計画の基礎。まちづくりの理念や将来像、それらの実現のための施策大綱。

①まちづくりの基本方向

- ◆「清流と文化」を発信する創造のまちづくり
- ◆「人と環境」を重視するやさしいまちづくり
- ◆「自立できる自治体経営」を基本とした自立できるまちづくり
- ◆「参画と協働」を尊重する地域主権のまちづくり

②まちづくりの将来像

町の将来像

会津文化の源流

人が輝き 夢が広がる 環境共生のまち

○会津文化の源流

多彩な住民活動が活力を呼び起こし、保存する資源、水と緑など豊富な自然や伝統文化を活用して全国へ情報発信するまち

○人が輝き

個性を大切にし、子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重されるまち

○夢が広がる

参画と協働によって、新しい発展をとげるとともに人材を育成するまち

○環境共生

すべての分野にわたって人と環境にやさしいまち